

今月の

ピッコ  
アッコ

生薬

9月

コウブシ  
香附子

漢方薬として、お腹の痛みに関する薬としてよく使われます。



展示番号

No.17

今月は、香附子(コウブシ)です。  
タッチパネルモニターも  
ご覧下さい。

使用部分 (つかうところ)

こんげい  
根茎



根が地面の下で横に伸びて  
いる部分です。



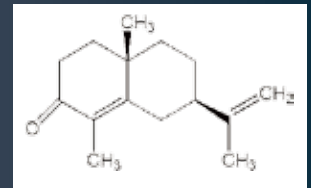
どんな植物

カヤツリグサ科のハマスゲという植物です。砂浜や道端などでよく見かける高さ20-40cm程度の多年草植物です。「強害(きょうがい)草(そう)」と呼ばれる雑草に分類されます。強害草とは、畑などで作物の生育に影響を及ぼす植物です。ハマスゲは強い日差しを好む、乾燥した場所でも育つ雑草です。要は、疎ましがられる雑草で、その辺の道端でもアスファルトを突き破って生えています。地下に伸びた根茎から、細い根を取り除き、乾燥したものをコウブシとして利用します。コウブシには、独特の香りがあり、それをアロマセラピーに使うこともあります。

また、毒性の高い附子(ブシ:トリカブト)とは植物が違いますが、形が似ていて、香りがすることから、香附子と言われるようになりました。

化学成分:  $\alpha$ -シペロン ( $\alpha$ -cyperone)、シペロール (cyperol)

コウブシの精油成分として $\alpha$ -シペロンやシペロールが含まれています。 $\alpha$ -シペロンは、二重結合を2つ持ったイソプレンと呼ばれる骨格をもつ化合物。 $\alpha$ -シペロンやシペロールといった精油成分が、コウブシには、0.5~1%ほど含まれています。



$\alpha$ -シペロン  
 $C_{15}H_{22}O$

産地 (とれる所)

中国、韓国、ベトナム等



熱帯・亜熱帯地方では、  
よく見られる雑草です。

来月は、No.26の芍薬(シャクヤク)を取り上げます。

※実際の医薬品としての効能などについては、薬剤師や、医師にご相談ください。